

市道弥富相生山線建設に関して、行政と市民の話し合いの場を

開催することを求める請願

平成 26 年 3 月 7 日

名古屋市会議長 藤田 和秀 様

請願代表者

相生山の自然を守る会代表 近藤 国夫

請願趣旨

市道弥富相生山線建設について疑問を持つ市民は多くいます。名古屋市は、市道弥富相生山線を野並交差点、島田交差点の渋滞解消や、周辺生活道路への車両の流入防止を目的として計画された道路としていますが、平成 23 年 3 月の地下鉄桜通線の徳重延伸、国道 302 号線および名二環の開通などにより両交差点の渋滞はほぼ解消しています。また、生活道路へ流入する車両は、交通規制を無視して侵入する車両であり、これは現在の規制を徹底することにより止めることができます。

都市計画道路のネットワークとして必要ともいっていますが、すでに開通している市道弥富相生山線の昭和高校前交差点を先頭とする朝の渋滞の長さは 800m 以上にもなっていて、ここに交通量 1 万台の道路が接続することになれば渋滞がさらに酷くなり、交通の流れを円滑にするネットワーク機能をかえって阻害することは明らかです。また、相生小学校の通学路にもなっている久方交差点の危険度が高まると心配する声もあります。

一部始まっている道路建設工事による森の伐採で、緑地内の乾燥が進みヒメボタルの生息にも影響が出ています。

このような多くの問題、疑問に対し名古屋市は今までなんら答えていません。そこで、これらの問題、疑問について市民に直接説明し、話し合う場を開催することをお願いいたします。

請願項目

市道弥富相生山線建設に関して、行政と市民の話し合いの場を開催することを求める。

以上